五行歌の会	きんきサロン通信 11 月号	発行:きんきサロン　代表・いぶやん 編集長・小倉はじめ No.029　2024.11.09

全国 in 大阪盛況理に終了　やったね西村さん！

10 月 27 日。関西では７年振り、大阪では 14 年振りとなる全国歌会が、天満橋の大阪キャッスルホテルに１７３名が集い、開催されました。コロナ明けの、昨年の東京大会も盛り上がりましたが、今年の大阪大会は、関西テイストのサービス精神とノリの良さで、より一層賑やかな大会になったと感じております。大会にご参加の皆様、大会実行委員の皆様、スタッフの皆様。本当にご苦労様でした。ありがとうございました。

さてビッグニュース。きんきサロンメンバーとして 20 年ぶりカムバックの西村康則氏が、なんと全体歌会１席という栄冠を勝ち取られました。所属の歌人さんの全国大会１席は、きんきサロン歌会創立以来初めての出来事、快挙です。本当におめでとうございました。メンバーの一人としてとても誇らしいです。

その他に、関西の歌人さんからは、むつ子氏が５席、夕月氏が７席、樹実氏が８席入賞と、赫赫たる成績おさめられました。これも歌人の皆様の日頃の研鑽のたまものでありましょう。心よりお慶び申し上げます。

さて、１１月例会１席は２名、別れてしまった人や故人への思いをしみじみと表白された倭氏、すすきの原のミステリアスさを活写した玉虫氏でした。２席も２名で、全国１席獲得の西村氏へのお祝い歌の小倉さん。気候と大地の変容を格調高く詠われた蛍いかさん。３席は今のご自身の心境を詠われた西村さんでした。おめでとうございました。１２月以降の歌会詳細は編集長記事をご覧下さい。　　（いぶ記）

【311 回きんきサロン歌会結果】

1
燃え上がる
夕焼け
空の炎は
川面にも
溢れ
青藍 ６点 同点次席

2
やさしくして
あげれなかった
人を思って
心が疼く
秋の宵
倭 15 点 同点一席

3
すすきの原
そこには
誰も
探さないものが
潜んでいる
玉虫 15 点 同点一席

4
何事にも
ふさわしい時がある
今が
その時かも知れない
ようこそ お帰りなさい
小倉はじめ 11 点 同点二席

5
「学校に行きたくない」
ボソボソボソボソと
つぶやく青年
重い空気漂う
満員電車の中
　　平村幸子　＊
6
急上昇
急降下
只今低空飛行の
私に突然
天から雷が落ちて来た
　　西村康則 9点 三席
7
一曳山が
一からくり
十三基が動く大津祭
囃子方の若者と
合わせ引く力強さ
　　黒田節子　＊
8
さようなら
またご縁がありましたら
なんて優しい言葉
旅先のほっこり会話の
別れ際
　　青猫子 4点
9
春秋儚く
冬夏盛ん
海は大気を浮遊し
陸はマントルに沈静す
孫よ達者でな
　　蛍いか 11 点 同点二席
10
十五夜の満月が
ぐんぐん昇るのは
地球の精霊たちが
ジャッキで ぐいぐい
持ち上げているから
　　いぶやん 4点
11
何年ぶりだろう
幼馴染と歌会で語る
新幹線に吸い込まれても
その余韻を温めて
帰途につく夜道
　　HIKARIKO 6点 次点同

＊印は３点以下、点数非開示

（参加者：９名）青猫子・いぶやん・
小倉はじめ・黒田節子・青藍・西村康則・
平村幸子・蛍いか・HIKARIKO
（歌のみ参加）倭・玉虫

■編集長追記＆次月以降のご案内

全国大会楽しかったです。脱コロナで伸び伸び、やはり対面での交流はいいものです。

早いもので、もう 12 月となります。**12 月歌会(12/1「日」)は、ウイングスにて歌会後、忘年会（場所：酔心）忘年歌会**として企画します。忘年会参加費@5,000 予定。

１月歌会（1/5「日」）は、年始を祝って延期となっていた京都ふくや五行歌会代表の夕月さんのお店で歌会前の**ランチ(@1,800)付き歌会**です。日曜日はお休みですが、特別に貸し切りで、お店開けていただきます。お店スペース限られていますので、ランチ付きは**先着９名様に限定**させていただきます。その他の方は、歌会場のウイングスへ直行ください。ランチ会参加の方､伊吹代表まで､その旨、歌提出は後日でいいので、早めに参加申込ください。

２月歌会は、お休みとします。きんきサロン定例開催日の第一日曜日（2/2）は、**関西新春合同歌会（場所：大阪キャッスルホテル）**と重なりますので、きんきサロン２月歌会は休会となります。　　（はじめ記）